(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第5462688号
(P5462688)
(45)発行日　平成26年4月2日(2014.4.2)　(24)登録日　平成26年1月24日(2014.1.24)

(51)Int.Cl.　　F I
G06Q 30/06 (2012.01)　　G06Q 30/06　130
G06Q 50/10 (2012.01)　　G06Q 50/10

請求項の数 6　(全 12 頁)

(21)出願番号　特願2010-80312(P2010-80312)
(22)出願日　平成22年3月31日(2010.3.31)
(65)公開番号　特開2011-215684(P2011-215684A)
(43)公開日　平成23年10月27日(2011.10.27)
審査請求日　平成25年3月22日(2013.3.22)

(73)特許権者　399037405
楽天株式会社
東京都品川区東品川四丁目１２番３号
(74)代理人　110000958
特許業務法人　インテクト国際特許事務所
(74)代理人　100083839
弁理士　石川　泰男
(74)代理人　100120189
弁理士　奥　和幸
(72)発明者　鈴木　脩平
東京都品川区東品川四丁目１２番３号　楽天株式会社内
(72)発明者　大岩　傑
東京都品川区東品川四丁目１２番３号　楽天株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】サーバ装置、評価方法、および、評価プログラム

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
ユーザ端末装置がネットワークを介してアクセス可能なサーバ装置であって、
応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報とを含む応募情報を前記ユーザ端末装置から複数取得する応募情報取得手段と、
前記取得した応募情報を記憶した応募情報記憶手段から、第１応募情報と、当該第１応募情報のユーザの応募情報であって、前記第１応募情報と異なる第２応募情報とを抽出する応募情報抽出手段と、
前記第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、前記第２応募情報に含まれる第２テキスト情報との類似度を算出する類似度算出手段と、
前記算出した類似度に基づいて、前記応募対象に対する意欲度を評価する意欲度評価手段と、
を備えることを特徴とするサーバ装置。
【請求項２】
請求項１に記載のサーバ装置において、
前記応募情報抽出手段が、前記第２応募情報として、前記ユーザと異なる複数のユーザの応募情報から求めた標準的なパターンを有する応募情報を前記応募情報記憶手段から抽出することを特徴とするサーバ装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載のサーバ装置において、

前記応募情報抽出手段が、前記第２応募情報として、前記応募対象と同一のカテゴリに属する応募対象の応募情報を前記応募情報記憶手段から抽出することを特徴とするサーバ装置。

【請求項４】

請求項１または請求項２に記載のサーバ装置において、

前記応募情報抽出手段が、前記第２応募情報として、複数の応募情報を抽出し、

前記類似度算出手段が、前記第１テキスト情報と、前記各第２応募情報の第２テキスト情報との複数の類似度を算出し、

前記意欲度評価手段が、複数の類似度に基づき、前記応募対象に対する意欲度を評価することを特徴とするサーバ装置。

【請求項５】

サーバ装置が評価を行う評価方法であって、

応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報とを含む応募情報を、ネットワークを介してユーザ端末装置から複数取得する応募情報取得ステップと、

前記取得した応募情報を記憶した応募情報記憶手段から、第１応募情報と、当該第１応募情報のユーザの応募情報であって、前記第１応募情報と異なる第２応募情報とを抽出する応募情報抽出ステップと、

前記第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、前記第２応募情報に含まれる第２テキスト情報との類似度を算出する類似度算出ステップと、

前記算出した類似度に基づいて、前記応募対象に対する意欲度を評価する意欲度評価ステップと、

を有することを特徴とする評価方法。

【請求項６】

コンピュータに、

応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報とを含む応募情報を、ネットワークを介してユーザ端末装置から複数取得する応募情報取得手段、

前記取得した応募情報を記憶した応募情報記憶手段から、第１応募情報と、当該第１応募情報のユーザの応募情報であって、前記第１応募情報と異なる第２応募情報とを抽出する応募情報抽出手段、

前記第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、前記第２応募情報に含まれる第２テキスト情報との類似度を算出する類似度算出手段、および、

前記算出した類似度に基づいて、前記応募対象に対する意欲度を評価する意欲度評価手段として機能させることを特徴とする評価プログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、働き手を求める求人者による求人および仕事を求める求職者による求職を支援する上で、求職者の意欲を評価して求人者に提供するサーバ装置、評価方法、および、評価プログラムの技術分野に関する。

【背景技術】

【０００２】

従来、求人および求職を支援する求人・求職支援システムにおいては、例えば、氏名、年齢、住所、学歴、職歴、資格、希望条件等の情報を求職者に入力させ、求人者が設定した条件に合致する求職者の情報を求人者に提供することができる。また、求職者の求職に対する意欲というものを評価し、意欲を示す情報を求人者に提供するシステムも存在する。

【０００３】

例えば、非特許文献１には、求職者の行動に基づいて求職者の意欲を評価する技術が開示されている。具体的に、非特許文献１に開示された技術では、カレンダーの更新、求人募集に対する応募、勤務実績等により、求職者の意欲を示すやる気ポイントが増加し、カ

レンダーや応募の際に求職者がやる気ポイントを使用することで、求職者の意欲を視覚化して求人者に提示する。

【先行技術文献】

【非特許文献】

【０００４】

【非特許文献１】株式会社インディバル 、“短期アルバイト・単発バイト専門サイト ショットワークス　意欲をアピールするシステム”、［online］、［平成２２年３月９日検索］、インターネット<URL: http://shotworks.yahoo.co.jp/guide/merit4>

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００５】

しかしながら、非特許文献１に開示された技術では、求職者の意欲を求人者に高く評価させるためには、求職者が求人・求職システムを継続してある程度の長い期間利用する必要がある。そのため、システムの利用期間が短い求職者の意欲を適切に評価することは困難であった。

【０００６】

そこで、本発明は以上の点に鑑みてなされたものであり、求職意欲を適切に評価することが可能なサーバ装置、評価方法、および評価プログラムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００７】

上記課題を解決するために、請求項１に記載の発明は、ユーザ端末装置がネットワークを介してアクセス可能なサーバ装置であって、応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報とを含む応募情報を前記ユーザ端末装置から複数取得する応募情報取得手段と、前記取得した応募情報を記憶した応募情報記憶手段から、第１応募情報と、当該第１応募情報のユーザの応募情報であって、前記第１応募情報と異なる第２応募情報とを抽出する応募情報抽出手段と、前記第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、前記第２応募情報に含まれる第２テキスト情報との類似度を算出する類似度算出手段と、前記算出した類似度に基づいて、前記応募対象に対する意欲度を評価する意欲度評価手段と、を備えることを特徴とする。

【０００９】

請求項２に記載の発明は、請求項１に記載のサーバ装置において、前記応募情報抽出手段が、前記第２応募情報として、前記ユーザと異なる複数のユーザの応募情報から求めた標準的なパターンを有する応募情報を前記応募情報記憶手段から抽出することを特徴とする。

【００１０】

請求項３に記載の発明は、請求項１または請求項２に記載のサーバ装置において、前記応募情報抽出手段が、前記第２応募情報として、前記応募対象と同一のカテゴリに属する応募対象の応募情報を前記応募情報記憶手段から抽出することを特徴とする。

【００１１】

請求項４に記載の発明は、請求項１または請求項２に記載のサーバ装置において、前記応募情報抽出手段が、前記第２応募情報として、複数の応募情報を抽出し、前記類似度算出手段が、前記第１テキスト情報と、前記各第２応募情報の第２テキスト情報との複数の類似度を算出し、前記意欲度評価手段が、複数の類似度に基づき、前記応募対象に対する意欲度を評価することを特徴とする。

【００１２】

請求項５に記載の発明は、サーバ装置が評価を行う評価方法であって、応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報とを含む応募情報を、ネットワークを介してユーザ端末装置から複数取得する応募情報取得ステップと、前記取得した応募情報を記憶した応募情報記憶手段から、第１応募情報と、当該第１応募情報のユーザの応募情報であって、前記第１応募情報と異なる第２応募情報とを抽出する応募情報抽出ステップと、前記

第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、前記第２応募情報に含まれる第２テキスト情報との類似度を算出する類似度算出ステップと、前記算出した類似度に基づいて、前記応募対象に対する意欲度を評価す
る意欲度評価ステップと、を有することを特徴とする。

【００１３】

請求項６に記載の発明は、コンピュータに、応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報とを含む応募情報を、ネットワークを介してユーザ端末装置から複数取得する応募情報取得手段、前記取得した応募情報を記憶した応募情報記憶手段から、第１応募情報と、当該第１応募情報のユーザの応募情報であって、前記第１応募情報と異なる第２応募情報とを抽出する応募情報抽出手段、前記第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、前記第２応募情報に含まれる第２テキスト情報との類似度を算出する類似度算出手段、および、前記算出した類似度に基づいて、前記応募対象に対する意欲度を評価する意欲度評価手段として機能させることを特徴とする。

【発明の効果】

【００１４】

本発明によれば、応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報とを含む応募情報をユーザ端末装置から取得し、ユーザ端末装置から取得した応募情報を応募情報記憶手段に記憶し、応募情報記憶手段から第１応募情報と、第１応募情報と比較するための第２応募情報とを抽出し、第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、第２応募情報に含まれる第２テキスト情報との類似度を算出し、算出した類似度に基づいて、応募対象に対する意欲度を評価することにより、求職意欲を適切に評価することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１５】

【図１】本発明の一実施形態に係るに係る求人・求職支援システムの概要構成例を示す模式図である。

【図２】図１の求人・求職支援サーバの概要構成の一例を示すブロック図である。

【図３】図１の求人・求職支援システムにおける動作例を示すフローチャートである。

【図４】図１のユーザ端末に表示されるユーザ登録のウェブページの一例を示す模式図である。

【図５】図１のユーザ端末に表示される求人検索のウェブページの一例を示す模式図である。

【図６】図１のユーザ端末に表示される求職申込のウェブページの一例を示す模式図である。

【図７】図１の企業サーバに送信される評価結果ウェブページの一例を示す模式図である。

【発明を実施するための形態】

【００１６】

以下、図面を参照して本発明の実施形態について説明する。なお、以下に説明する実施の形態は、画像表示システムに対して本発明を適用した場合の実施形態である。

【００１７】

［１．求人・求職支援システムの構成および機能概要］

まず、本発明の一実施形態に係る求人・求職支援システムの構成および概要機能について、図１を用いて説明する。

【００１８】

図１は、本実施形態に係る求人・求職支援システム１の概要構成例を示す模式図である。

【００１９】

図１に示すように、求人・求職支援システム１は、求人・求職支援サイトが運営し、求職者から収集した応募情報を評価する求人・求職支援サーバ１０（評価サーバ装置の一例）と、求人・求職支援サイトに求人を依頼する企業が運営する企業サイトサーバ２０と、

職を求めるユーザ（求職者）のユーザ端末３０（ユーザ端末装置の一例）と、を備えている。

【００２０】

求人・求職支援サーバ１０と、企業サイトサーバ２０と、ユーザ端末３０とは、ネットワーク３により接続され、例えば、通信プロトコルにＴＣＰ／ＩＰ等を用いて相互にデータの送受信が可能になっている。なお、ネットワーク３は、例えば、インターネット、専用通信回線（例えば、ＣＡＴＶ（Community Antenna Television）回線）、移動体通信網（基地局等を含む）、および、ゲートウェイ等により構築されている。

【００２１】

求人・求職支援サーバ１０は、応募対象の一例である企業の企業サイトサーバ２０から求人情報を収集してインターネット上に掲載したり、求職者が入力した応募情報を収集したりする。また、求人・求職支援サーバ１０は、ユーザ端末３０に求人情報の検索機能の提供をする。また、求人・求職支援サーバ１０は、応募情報に含まれるテキスト情報を分析して、応募対象に対する意欲度を評価したり、企業サイトサーバ２０等に分析結果を通知したりする。

【００２２】

ユーザ端末３０は、ユーザにウェブページ上の求人情報を表示したり、ユーザが入力した応募情報を送信したりする。

【００２３】

［２．求人・求職支援サーバ１０の構成および機能］

次に、求人・求職支援サーバ１０の構成および機能について、図２を用いて説明する。

【００２４】

図２は、求人・求職支援サーバ１０の概要構成の一例を示すブロック図である。

【００２５】

図２に示すように、コンピュータとして機能する求人・求職支援サーバ１０は、通信部１１と、記憶部１２と、入出力インターフェース部１３と、システム制御部１４と、を備えている。そして、システム制御部１４と入出力インターフェース部１３とは、システムバス１５を介して接続されている。

【００２６】

通信部１１は、ネットワーク３に接続して企業サイトサーバ２０やユーザ端末３０等との通信状態を制御したり、ローカルエリアネットワークに接続して、他のコンピュータとデータの送受信を行ったりする。

【００２７】

記憶部１２は、例えば、ハードディスクドライブ等により構成されており、オペレーティングシステムおよびサーバプログラム等の各種プログラムや、データ等を記憶する。なお、各種プログラムは、例えば、他のサーバ装置等からネットワーク３を介して取得されるようにしてもよいし、記録媒体に記録されてドライブ装置を介して読み込まれるようにしてもよい。

【００２８】

また、記憶部１２には、求人情報データベース１２ａや、ユーザ情報データベース１２ｂや、ユーザ端末３０を通して求職者から受け付けた応募情報を保存する応募情報データベース１２ｃ等が構築されている。

【００２９】

求人情報データベース１２ａには、人を求める各企業の企業サイトサーバ２０から送信された、職種、仕事の内容、報酬、求める人数、勤務地、勤務時間、待遇、求める人材の資格等の応募条件、企業概要等の企業情報等が企業ＩＤに関連付けられて記憶される。また、ＨＴＭＬ（HyperText Markup Language）、ＸＭＬ（Extensible Markup Language）等のマークアップ言語等により記述されたウェブページのファイル等が記憶されて、ユーザ登録のためのウェブページや、企業検索をするためのウェブページや、求職情報を取得するためのウェブページ等が記憶されている。

【００３０】
ユーザ情報データベース１２ｂには、求人・求職支援サイトに登録されたユーザ（求職者）のユーザＩＤ、名称、住所、電話番号、メールアドレス、職歴、資格等のユーザ情報が登録されている。このような応募情報の一部のユーザ情報は、ユーザＩＤによってユーザ毎に判別可能になっている。また、ユーザ情報データベース１２ｂには、ユーザがユーザ端末３０から求人・求職支援サイトにログインする際に必要な、ログインＩＤ、および、パスワードが登録されている。ここで、ログインＩＤおよびパスワードは、ログイン処理（ユーザの認証処理）に使用されるログイン情報である。
【００３１】
応募情報データベース１２ｃには、ユーザＩＤに関連付けられ、応募先の企業識別情報としての企業ＩＤや、志望動機の文章や、自己ＰＲとして自分を売り込むための文章や、本人希望記入欄に記入される希望する勤務地、希望する年収、就職時期等の要求条件等が記載された文章や、求職者の特技・趣味等の文章情報が記憶される。また、企業等のカテゴリに応じて、標準的な応募情報も記録されている。この標準的な応募情報は、志望動機の書き方等のサンプルを集めたものや、様々ユーザの応募情報から標準的なパターンを抽出したものでもよい。応募情報データベース１２ｃは、ユーザ端末装置から取得した応募情報を記憶する応募情報記憶手段の一例として機能する。
【００３２】
次に、入出力インターフェース部１３は、通信部１１および記憶部１２とシステム制御部１４との間のインターフェース処理を行うようになっている。
【００３３】
システム制御部１４は、ＣＰＵ（Central Processing Unit）１４ａ、ＲＯＭ（Read Only Memory）１４ｂ、ＲＡＭ（Random Access Memory）１４ｃ等により構成されている。そして、システム制御部１４は、ＣＰＵ１４ａが、ＲＯＭ１４ｂや記憶部１２に記憶された各種プログラムを読み出し実行することにより、企業サイトサーバ２０から求人情報を収集してウェブページに掲載したり、求人情報の検索機能をユーザに提供したり、ユーザからの応募情報を収集したりする。また、システム制御部１４は、ユーザ端末３０から取得した第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、基準となる第２テキスト情報との類似度を算出したり、算出した類似度に基づいて、応募対象に対する意欲度を評価したりする。
【００３４】
［３．求人・求職支援システムの動作］
次に、本発明の一実施形態に係る求人・求職支援システム１の動作について図３～図７を用いて説明する。
【００３５】
図３は、求人・求職支援システム１における動作例を示すフローチャートである。図４は、ユーザ端末３０に表示されるユーザ登録のウェブページの一例を示す模式図である。図５は、ユーザ端末３０に表示される求人検索のウェブページの一例を示す模式図である。図６は、ユーザ端末３０に表示される求職申込のウェブページの一例を示す模式図である。図７は、企業サイトサーバ２０に送信される評価結果ウェブページの一例を示す模式図である。
【００３６】
図３に示すように、求人・求職支援サーバ１０が、求職を希望するユーザのユーザ登録を受け付ける（ステップＳ１）。具体的には、図４に示すように、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、ユーザ端末３０からのリクエストに応じて、ユーザ登録のためのウェブページ４０を送信する。求職を希望するユーザは、氏名、住所、電話番号、メールアドレス等の連絡先、学歴・職歴、取得した資格、特技・趣味等のユーザ情報を入力し、グラフィカルな確定ボタンを押すと、これらユーザ情報が、ユーザ端末３０から求人・求職支援サーバ１０に送信される。
【００３７】

次に、求人・求職支援サーバ１０が、ユーザ情報を記憶する（ステップＳ２）。具体的には、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、ユーザ情報をユーザ端末３０から受信して、ログインＩＤ、パスワード、および、ユーザＩＤを発行し、ユーザ情報データベース１２ｂにユーザ情報をユーザＩＤに関連付けて記憶する。発行されたログインＩＤやパスワードは、ユーザにメール送信等される。なお、既に登録済みのユーザに対しては、ステップＳ１が省略される。このように求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、ユーザ端末装置から取得した応募情報を記憶する応募情報記憶手段の一例として機能する。

【００３８】

登録が終わった後、ユーザは、職を探すため、求人・求職支援サイトにログインし、図５に示すように、ユーザは、ウェブページ４１をユーザ端末３０の表示部に表示させて、自分の希望にかなう企業を探し、応募対象の企業を特定する。そしてユーザは、図６に示すように、求職情報を入力する求職シートのウェブページ４２を開き、志望動機欄４２ａ、本人希望記入欄４２ｂ、自己をアピール等するための自己ＰＲ・その他欄４２ｃに、各々、志望動機等の文章を入力する。ユーザが入力した後、グラフィカルな確定ボタンを押すと、企業ＩＤを含む求職情報が、ユーザ端末３０から求人・求職支援サーバ１０に送信される。

【００３９】

次に、求人・求職支援サーバ１０が、応募対象に求職を申し込むユーザから求職情報を取得する（ステップＳ３）。具体的には、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、ユーザがウェブページ４２で入力した求職情報をユーザ端末３０から受信する。このように、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報とを含む応募情報をユーザ端末装置から取得する応募情報取得手段の一例として機能する。

【００４０】

次に、求人・求職支援サーバ１０が、求職情報等の応募情報を記憶する（ステップＳ４）。具体的には、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、ユーザ端末３０から受信した求職情報を、応募情報データベース１２ｃに記憶する。ここで、応募情報データベース１２ｃには、応募情報として、ユーザ登録の際に入力された求職者の特技・趣味等の文書情報も記憶してもよい。

【００４１】

このように求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報とを含む応募情報をユーザ端末装置から取得する応募情報取得手段の一例として機能し、ユーザ端末装置から取得した応募情報を記憶する応募情報記憶手段の一例として機能する。

【００４２】

次に、求人・求職支援サーバ１０が、第１応募情報および第２応募情報を抽出する（ステップＳ５）。具体的には、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、ユーザ端末３０から今回取得した応募情報を、応募情報データベース１２ｃから第１応募情報として抽出する。そして、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、ユーザＩＤに基づき、このユーザＩＤに該当するユーザが過去に応募をした応募情報を応募情報データベース１２ｃから検索し、過去の応募情報があれば第２応募情報として抽出する。過去の応募情報がない場合、応募情報データベース１２ｃから標準的な応募情報を抽出する。また、第２応募情報として、今回のユーザと異なるユーザの応募情報を抽出したり、企業ＩＤに基づき応募対象の企業と同一のカテゴリに属する応募対象の応募情報を抽出したりしてもよい。

【００４３】

このように、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、応募情報記憶手段から、第１応募情報と、第１応募情報と比較するための第２応募情報とを抽出する応募情報抽出手段の一例として機能する。また、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４

は、第２応募情報として、ユーザの応募情報であって、第１応募情報と異なる応募情報を応募情報記憶手段から抽出する応募情報抽出手段の一例として機能する。また求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、第２応募情報として、ユーザと異なるユーザの応募情報を応募情報記憶手段から抽出する応募情報抽出手段の一例として機能する。また求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、第２応募情報として、応募対象と同一のカテゴリに属する応募対象の応募情報を応募情報記憶手段から抽出する応募情報抽出手段の一例として機能する。

【００４４】

次に、求人・求職支援サーバ１０が、第１応募情報と第２応募情報との類似度を算出する（ステップＳ６）。具体的には、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、第１応募情報に含まれる志望動機等の第１テキスト情報と、第２応募情報に含まれる志望動機等の第２テキスト情報との類似度を算出する。さらに具体的には、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、第１テキスト情報のテキストデータの文字列と、第２テキスト情報のテキストデータの文字列と文章間距離の一例としてＪａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離を計算する。文章間距離が短いほど類似度が高くなり、例えば、文章間距離の逆数を類似度とする。ここで、文字列には、句読点や空白等も含まれる。また、Ｊａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離は、距離として０～１で表現でき、第１テキスト情報の文章と第２テキスト情報の文章とが同じ文章ならば、Ｊａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離は零となる。似ていない文章であればあるほど、Ｊａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離は１に近づく。なお、文章間距離は、Ｊａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離に限らず、レーベンシュタイン距離等の編集距離により算出してもよい。また、志望動機欄４２ａの文章と、本人希望記入欄４２ｂの文章と、自己ＰＲ・その他欄４２ｃの文章と、ユーザ情報の文章と、各々類似度を算出し、平均したりして、本人希望の重みを増加させる等、重み付けして平均してもよい。

【００４５】

このように求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、第２応募情報に含まれる第２テキスト情報との類似度を算出する類似度算出手段の一例として機能する。

【００４６】

次に、求人・求職支援サーバ１０が、類似度に基づき意欲度を評価する（ステップＳ７）。具体的には、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、算出した類似度が低い場合の意欲度の評価を高くして、類似度が高い場合の評価を低くする。例えば、図７に示すように、類似度または意欲度に応じてランク付けし、評価Ａから評価Ｄ分けを行う。意欲度は、類似度の逆数等、類似度が高い場合、意欲度を低くし、類似度が低い場合に、意欲度を高くするように、類似度と意欲度の関係を決定する。また、文章間距離を意欲度として、文章間距離に応じて評価のランク付けをしてもよい。Ｊａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離ｄが”０～０．２５”のとき、”評価Ｄ”、Ｊａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離が”０．２５～０．５”のとき、”評価Ｃ”、Ｊａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離が”０．５～０．７５”のとき、”評価Ｂ”、Ｊａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離が”０．２７～１”のとき、”評価Ａ”、とする。なお、ランクを分けるＪａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離における境界の値は、どちらかのランクに含める。このように、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、算出した類似度に基づいて、応募対象に対する意欲度を評価する意欲度評価手段の一例として機能する。なお、類似度と応募回数等を併せて、意欲を評価してもよい。

【００４７】

次に、求人・求職支援サーバ１０が評価情報を該当する企業サイトサーバ２０に送信する（ステップＳ８）。具体的には、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４は、図７に示すように、ユーザに対する評価に関する情報が記載された評価結果ウェブページ５０の情報を企業ＩＤに基づき該当する企業サイトサーバ２０に送信する。

【００４８】

以上、本実施形態によれば、応募対象に求職を申し込むユーザのユーザ情報と求職情報

とを含む応募情報をユーザ端末装置から取得し、ユーザ端末装置から取得した応募情報を応募情報記憶手段に記憶し、応募情報記憶手段から第１応募情報と、第１応募情報と比較するための第２応募情報とを抽出し、第１応募情報に含まれる第１テキスト情報と、第２応募情報に含まれる第２テキスト情報との類似度を算出し、算出した類似度に基づいて、応募対象に対する意欲度を評価することにより、求職意欲を適切に評価することができる。

【００４９】

また、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４が、第２応募情報として、同じユーザの応募情報であって、第１応募情報と異なる応募情報を応募情報データベース１２ｃから抽出する場合、ユーザが以前応募したときに書いた志望動機等を、コピー＆ペーストすると、Ｊａｒｏ－Ｗｉｎｋｌｅｒ距離が零と、類似度が高くなり、求職意欲が低いと判定できる。

【００５０】

また、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４が、第２応募情報として、標準的な応募情報を応募情報データベース１２ｃから抽出する場合、ユーザの志望動機等が、標準的な志望動機の文章等からどれくらい乖離しているかのユニーク度を求職意欲として評価することができ、また、ユーザの応募毎に前記評価が可能であるため、ユーザのシステムの利用期間にかかわらず、求職意欲を適切に評価することができる。

【００５１】

また、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４が、第２応募情報として、応募対象と同一のカテゴリに属する応募対象の応募情報を応募情報データベース１２ｃから抽出する場合、異なるカテゴリに属する応募情報を抽出して比較した場合に比べて当該応募情報の構成が第１応募情報の構成と類似する可能性が高く、そのため求職意欲の評価の客観的な精度が高くなる。

【００５２】

なお、求人・求職支援サーバ１０のシステム制御部１４が、第２応募情報として、複数の応募情報を抽出し、第１テキスト情報と、各第２応募情報の第２テキスト情報との複数の類似度を算出し、複数の類似度に基づき、応募対象に対する意欲度を評価してもよい。この場合、複数の比較対象からの類似度を算出できるので、求職意欲の評価の客観的な精度が高くなる。ここで、同一カテゴリに申し込みした複数のユーザや、同じ年齢層の複数のユーザや、同じ学部出身の複数のユーザ等から、複数の第２応募情報を抽出して、第１応募情報との複数の類似度を求め、平均した類似度等から求職の意欲を評価する。

【００５３】

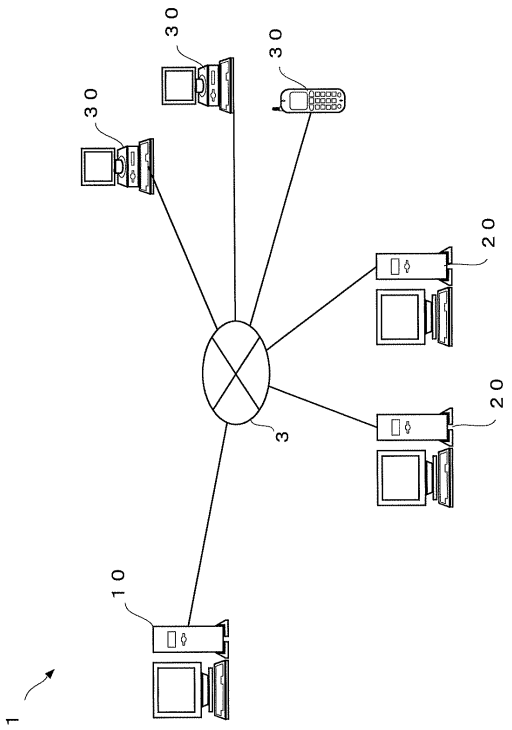
さらに、本発明は、上記各実施形態に限定されるものではない。上記各実施形態は、例示であり、本発明の特許請求の範囲に記載された技術的思想と実質的に同一な構成を有し、同様な作用効果を奏するものは、いかなるものであっても本発明の技術的範囲に包含される。

【符号の説明】

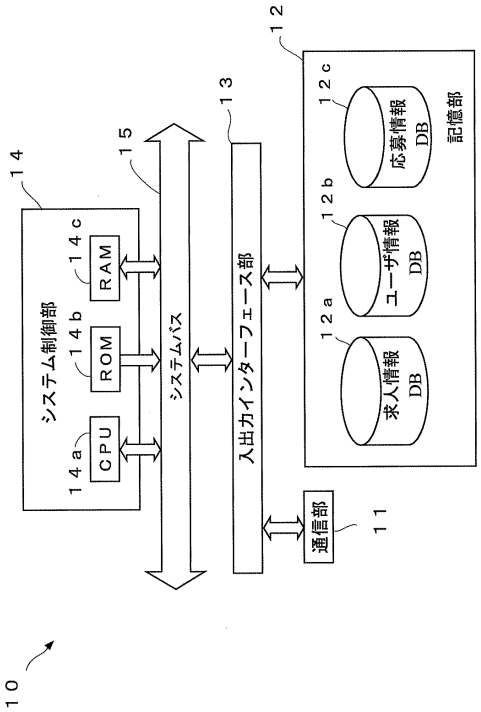
【００５４】

１：求人・求職支援システム
５：サーバシステム
１０：求人・求職支援サーバ（サーバ装置）
１４：システム制御部
２０：企業サイトサーバ
３０：ユーザ端末（ユーザ端末装置）
４２ａ：志望動機欄（第１テキスト情報）
４２ｂ：本人希望記入欄（第１テキスト情報）
４２ｃ：自己ＰＲ・その他欄（第１テキスト情報）

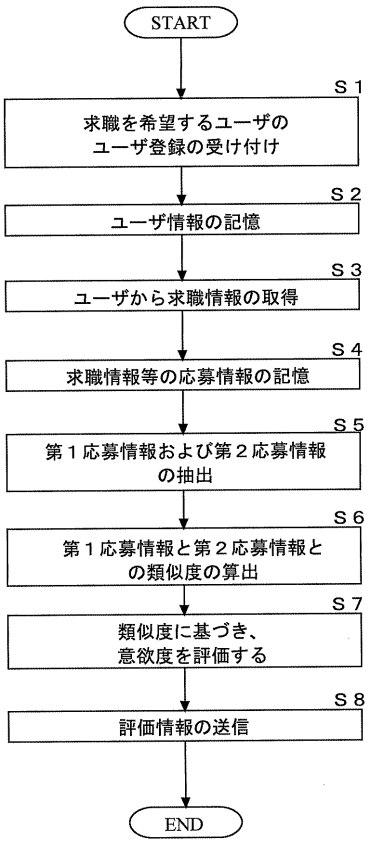
【図１】


30
30
30
20
20
3
10
1

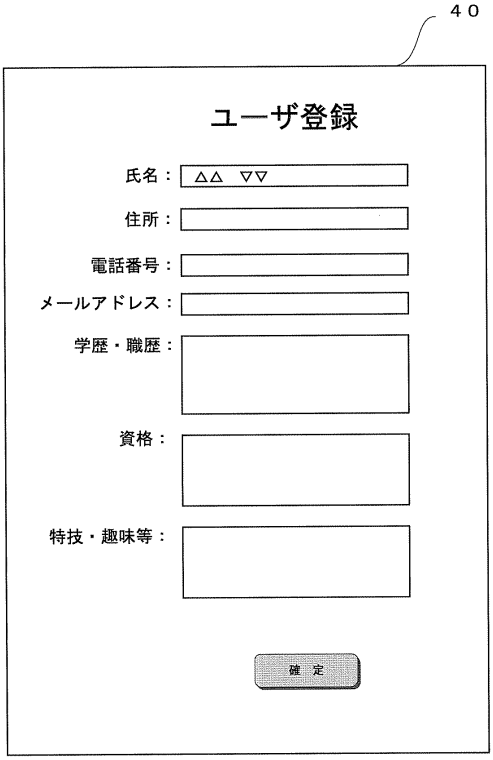
【図２】


12
12c
応募情報 DB
記憶部
12b
ユーザ情報 DB
12a
求人情報 DB
13
入出力インターフェース部
15
システムバス
14
システム制御部
14c
RAM
14b
ROM
14a
CPU
通信部
11
10

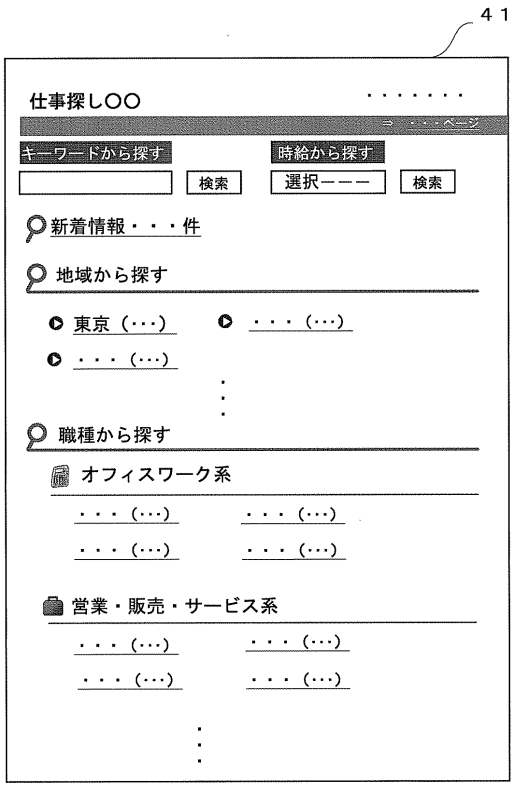
【図３】


START
S1
求職を希望するユーザの
ユーザ登録の受け付け
S2
ユーザ情報の記憶
S3
ユーザから求職情報の取得
S4
求職情報等の応募情報の記憶
S5
第１応募情報および第２応募情報
の抽出
S6
第１応募情報と第２応募情報と
の類似度の算出
S7
類似度に基づき、
意欲度を評価する
S8
評価情報の送信
END

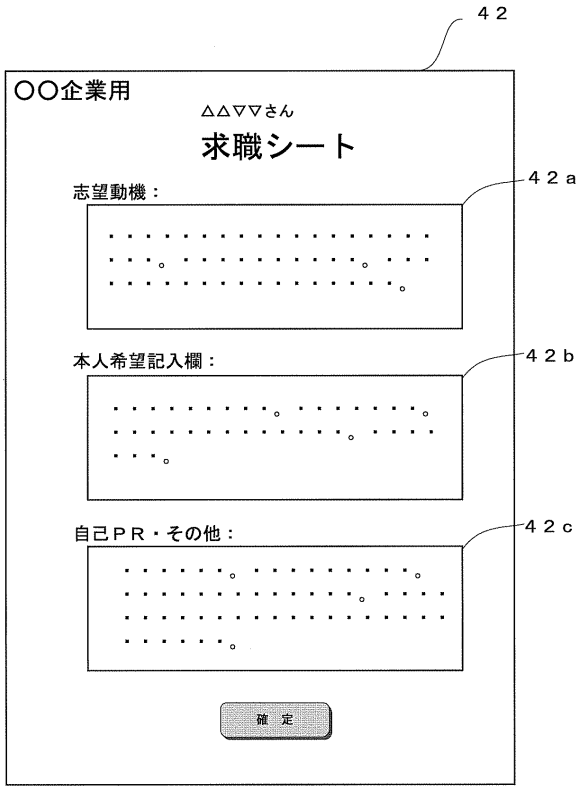
【図４】


40
ユーザ登録
氏名：
△△ ▽▽
住所：
電話番号：
メールアドレス：
学歴・職歴：
資格：
特技・趣味等：
確 定

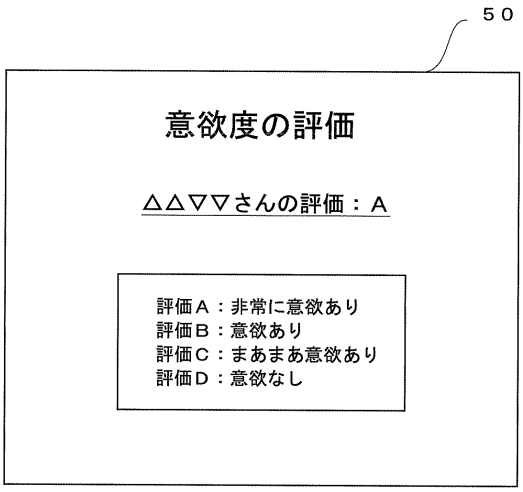
【図５】


４１
仕事探し○○
キーワードから探す
検索
時給から探す
選択－－－
検索
新着情報・・・件
地域から探す
東京（・・・）
職種から探す
オフィスワーク系
営業・販売・サービス系

【図６】


４２
○○企業用
△△▽▽さん
求職シート
志望動機：
４２ａ
本人希望記入欄：
４２ｂ
自己ＰＲ・その他：
４２ｃ
確 定

【図７】


５０
意欲度の評価
△△▽▽さんの評価：Ａ
評価Ａ：非常に意欲あり
評価Ｂ：意欲あり
評価Ｃ：まあまあ意欲あり
評価Ｄ：意欲なし

フロントページの続き

(72)発明者　坂本　康朗
東京都品川区東品川四丁目１２番３号　楽天株式会社内

審査官　岡北　有平

(56)参考文献　特開２００２－３７３２６８（ＪＰ，Ａ）
特開２００３－２８１４００（ＪＰ，Ａ）
特開平１１－３３８８７９（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０６Ｑ　１０／００　－　５０／３４